

(2) 本市の状況 地域ヒアリング結果

ア 状況	市街化区域	市街化調整区域
① 空き家の問題はない・大きな問題はない。	○	○
② 空き家と思われるものはない・少ない。	○	○
③ 管理されていない空き家はない・ほぼない。	○	○
④ 空き家を親族等が管理している。		○
⑤ 空き家ができても、すぐに流通している。	○	
⑥ 広い敷地の場合、同じ敷地内に子世帯が家を構え管理されている。		○
⑦ 広い敷地の場合、相続税が高額であり、売却され流通している（分割され複数の戸建て住宅になる）。	○	
⑧ 隣地との距離があるため、問題にならない。		○
⑨ 地域の繋がりがあり、空家等の情報を把握している。	○	○
⑩ 高齢ではないが諸事情により空き家と思われるものがある。	○	

イ 課題	市街化区域	市街化調整区域
① 高齢者単身世帯・高齢者のみ世帯が増えているため、今後、空き家が増加することが予測される。	○	○
② 空き家が放火の対象とされやすい（消防署より）。	○	○
③ 空き家、敷地内の物は個人所有物であり、地域で処分や対処ができない。	○	○
④ 地域とつながりのない人と連絡を取ることができない。	○	○

ウ 取組・対策・連携の可能性	市街化区域	市街化調整区域
① 空き家に関する話題を地域毎で集めると良い。	○	○
② 市と連携し、空家等の啓発ができる・意向調査を行うと良い。	○	○
③ 市で空家等の相談ができるることを周知できる。	○	○
④ 社会福祉協議会、民生委員等と連携し、空家等の情報を共有できると良い。	○	○
⑤ 地域で活用する方法を考えることも必要	○	○
⑥ 空き家を解消できる市の後押し（業者の紹介、補助金等）があると良い。	○	○